

★県北地域の感染症発生状況(11/9～11/15 福島県感染症発生動向調査週報より)

※詳細は「福島県感染症発生動向調査」で検索してください。

定点把握疾患:A群溶血性レンサ球菌咽頭炎が小流行しています。

指定感染症:新型コロナウイルス感染症(20件)の発生が県内医療機関から報告されました。

## 12月1日は世界エイズデー ～知ってる!? HIVとエイズの違い～

### エイズってどんな病気?

エイズ(後天性免疫不全症候群)は、HIV(ヒト免疫不全ウイルス)に感染し、体の免疫細胞が破壊され、日和見感染症や悪性腫瘍を合併した状態をいいます。HIV感染=エイズではありません。

日本国内においては、毎年HIV感染者は約1,000人、エイズ患者は約400人が報告されています。

### 感染経路

HIVは感染者の血液、精液、膣分泌液、母乳に含まれます。感染経路は主に次の3つです。

1. 性行為による感染
2. 血液を介しての感染
3. 母親から赤ちゃんへの母子感染

※HIVは日常生活(握手や会話、コップの回し飲み、公園の水飲み場やプール等)で感染することはありません。

### 臨床症状

HIV感染の自然経過は急性期、無症候期、エイズ発症期の3つの時期に分かれます。

#### 【急性期】

- ・感染の2～3週間後にウイルスが体内で急増する。
- ・発熱、咽頭痛、筋肉痛等のインフルエンザ様の症状が出現する。
- ・症状は数日から10週間程度続き、多くの場合は自然に軽快する。

#### 【無症候期】

- ・ウイルス量が減少し、定常状態となる。
- ・その後、数年～10年間ほどの無症候期を経過する。

#### 【エイズ発症期】

- ・免疫機能が低下し、日和見感染症等を発症する。
- 日和見感染症には、ニューモシスチス肺炎、カンジダ症、結核、悪性腫瘍などがあり、これらの発症をきっかけにHIV感染が判明することがある。

## 予防方法

- 性交・オーラルセックス（口腔性交）の際は、必ずコンドームを使う。
- 性器具の共用をしない。
- 注射器具の共用をしない。

### <コンドームの正しい使い方>

- [1] 爪を立てないようにして精液だめの空気を抜く。
  - [2] 勃起したペニスの皮を根元までたぐり寄せる。
  - [3] コンドームを途中まで巻きおろす。
  - [4] かぶせた部分を亀頭部分に寄せ、根元で余っていた皮膚がはるようにして根元までおろす。
  - [5] 射精したら、コンドームをおさえながらペニスをぬく。
  - [6] 口を結んで燃えるゴミとして捨てる。
- ※保管するときは高温の場所を避け、使用期限を守る。



コンドームは直前に付けるのではなく、性行為のはじめから終わりまで付けておく必要があります！

## 検査

保健所や病院、クリニックなどで検査を受けることができます。

県北保健所ではHIV抗体検査を実施しています。※匿名可

検査日：毎週月曜日（第5月曜日を除く） 午前9時～午前11時まで  
検査時期：感染の機会から3ヶ月以上経過してからの検査をおすすめしています。  
申し込み方法：完全予約制です。電話にてお申し込みください。  
電話番号 024-534-4113



## 全国的に新型コロナウイルス感染症患者が急増しています！

福島県内においては、新型コロナウイルス感染症患者が11月17日に450名を超え、患者が急増しています。今後も一人ひとりが基本的な感染防止対策に取り組みましょう。

### 【基本的な感染防止対策】

- 咳エチケット
- 3密の回避
- 手洗いの励行



### 正しくマスクを着用しましょう！

#### <マスクの着用方法>

- ① 鼻と口の両方を確実に覆う
- ② ゴムひもを耳にかける
- ③ 隙間がないよう鼻まで覆う



※顎マスクや鼻が出た状態ではマスクの効果が得られません！



正しい知識を身につけ、感染対策をしましょう！

発行日：令和2年11月30日

発行元：福島県県北保健所医療薬事課

住所 〒960-8012 福島市御山町8-30

電話 024-534-4113

ホームページ：検索キーワード

福島県県北保健所